

SUN

oka

創価大学ニュース 67号

2010年10月8日発行(年4回発行)

niv.

ews



2010年5月13日、創立者 池田大作先生に対し、中国・清华大学 顧学長より「名誉教授称号」が授与されました。

特集 さらなる学生支援へ

頑張れ受験生! 応援メッセージ

さらなる学生支援へ

Improving Student Support Initiatives

円高・株安やデフレといった経済不況が長引くなか、自分の夢の実現を目指し努力を続ける学生を、本学は全力で支援しています。今回の特集は、返還不要の「給付奨学金制度」をクローズアップし、本学における学生支援の取り組みをご紹介します。



創価大学創友給付奨学金制度を 2011年度より新設!

本学を受験される方を対象に、経済的な支援を目的とした返還の必要のない予約給付奨学金制度を新設します。この奨学金は、受験の前に申請し、一定の資格基準(家計収入、高校の成績等)により予約奨学生として、選考された受験生が、入学した場合給付されるものです。詳細は本学ホームページ(<http://www.soka.ac.jp>)を参照してください。

特典

- 1 入学金の半額を給付
- 2 授業料と施設設備費の半額を4年間給付

※ただし、2年次以降の継続については、毎年、家計の収入状況および成績等の審査があります。

経済・経営・法・文・教育学部の場合

入学金 …………… **12.3万円**
 授業料等 …………… **165.2万円**
 (41.3万円×4年間)

4年間で……………合計 **177.5万円**

工学部の場合

入学金 …………… **12.3万円**
 授業料等 …………… **226.0万円**
 (56.5万円×4年間)

4年間で……………合計 **238.3万円**

◆採用者数…… **200名**

※以下の「特別奨学生制度」と併用可

◆申込資格……

主たる家計支持者の年収が、給与所得の場合は400万円未満(課税前)、事業所得の場合は150万円未満である者

◆選考スケジュール……

- ①本学ホームページから、「募集要項」「申請書」をダウンロード。申請書に必要事項を記入し、書類を準備します。
- ②奨学金の申請を行います。受付期間は2010年10月20日(水)まで(当日消印有効) 創価大学学生課創友給付奨学金係宛て
- ③2010年11月中旬に採用者を発表します。(申込者に郵送にて結果を通知)

特別奨学生制度 各入学試験の成績優秀者を採用

建学の精神を深く理解し、優れた資質を有する人材を特別奨学生に採用し、4年間の学生生活を支援します。

◆給付額は、上記の「予約給付奨学金」と同じになります。

◆採用者数… 公募推薦入試: **13名** センター試験利用入試: **50名** 一般入試: **25名** ※2010年度入学試験実績

入学後の奨学金

1 特待生制度で年間**30万円**を給付 (2012年度からSemesterごとに15万円給付)

※前年度の成績が特に優秀な2~4年生に奨学金が給付されます。(本年度実績**102名**)

2 創価大学給付奨学金で**41.3万円**
(工学部は**56.5万円**)を免除

※経済的理由によって学業の継続が困難であると認められる学生に後期納付分の「授業料」と「施設設備費」が半額免除されます。(本年度実績**91名**)

創価女子短期大学給付奨学金を 2011年度より大幅拡充!



経済的な支援を目的とした、返還不要の奨学金制度を拡充します。

この奨学金は本学に入学後の申し込みで、採用者は当該年度の授業料と施設設備費を半額免除されるものです。

詳細は本学ホームページ(<http://www.soka.ac.jp/swc>)を参照してください。

現行の採用枠 **9名** → **30名**に拡大

	通常の学費納付金額	採用者の学費納付金額
初年次採用者 (入学金を含む)	1,218,380円/年	781,880円/年
2年次採用者	901,000円/年	464,500円/年

◆申込資格……主たる家計支持者の年収が給与所得の場合は400万円未満(課税前)、事業所得の場合は150万円未満である本学在学学生

◆選考スケジュール… 入学後の5月に申込、7月に採用者決定

◆その他……創価女子短期大学給付奨学金採用者は、以下の奨学金も併用できます。
 ※創価女子短期大学以外の団体の奨学金:
 日本学生支援機構奨学金(貸与)、地方公共団体及び民間の奨学金など

特別奨学生制度 公募推薦入試および一般入試の合格者の中から成績上位者若干名を特別奨学生として採用します(特典:入学金・授業料・施設設備費の半額免除)。

創価大学には他にも
給付奨学金があります!

- 法科大学院給付奨学金… **042-691-9476**
- 教職大学院給付奨学金… **042-691-9494**

頑張れ受験生!

Applicants Hone Entrance Exam Skills

卒業生・創大生から
応援のメッセージ!

みんな
頑張れ!!

創価大学を卒業して社会で活躍している卒業生や、先輩にあたる創大生から、
現在、受験勉強に取り組んでいる皆さんへの応援メッセージをいただきました!

① 受験生時代の思い出を教えてください。② 大学入学後に頑張ったことは何ですか? ③ 就職活動はいかがでしたか? ④ 受験生の皆さんにメッセージを!

諦めないこと。
常に自分のベストを
尽くすこと。
そこから道は開けます!

田中 梓さん
東京都中学校国語教員
創価大学 文学部
日本語日本文学科卒業(36期)



① 3年の夏休みから本格的に受験勉強を始めました。学校の成績には自信があったので「公募推薦で受かるしかない」と決めていました。しかし、結果は不合格…。結果を受けたその日はとてもショックでしたが、「もっと勉強するチャンスを与えられた」と前向きにとらえ、一般入試の合格を目指して再び勉強を開始しました。途中、逃げ出したくなったりもしましたが、自分の夢を叶えるため、そして何より応援してくれる家族や友だちの気持ちに応えるため、最後まで諦めずに頑張りました。そして、一般入試で合格を勝ち取ることができたのです。受験を通して、「諦めないこと」の大切さを学ぶことができました。

② 落語研究会と学生国際センターの活動を頑張りました。落語研究会では、個性豊かなメンバーとともに、真剣にお笑いの人を幸せにすることを考えてライブづくりに励みました。学生国際センターでは、留学生と関わる機会がたくさんありました。そのおかげで、国境を超えた友情を結ぶことができ、「世界平和の縮図」を実感しました。また、平和のシンポジウムを

開催して「平和」についていろんな人と語り合う中で「教育」の重要性に気付きました。これがきっかけで、「国語教師になる」という新たな夢が見つかったのです。

③ 東京都の「国語」の教員採用試験を受けました。1次試験は専門教養(国語)、教職教養のペーパーテスト、そして論作文があり、2次試験は集団討論と個人面接がありました。私は特に論作文が苦手。「国語の教師を目指しているにも関わらず文章能力がないなんて、自分は国語教師には向いていないのではないか」と挫けそうになりました。しかし「国語が苦手だからこそ国語の大切さを痛感した私には、国語が得意な人にはない魅力と、大きな使命があるはずだ」と自分で自分を励まし、何度も何度も苦手な論作文に立ち向かいました。そして試験まで残り1カ月を切ったころ、はじめて「合格作文」と言えるレベルのものを書くことができました。試験本番ではその合格作文のテーマと似たテーマが出たので自信を持ってすらすらと書くことができ、1次試験を無事に通過。2次試験の面接では、先生や友達と何度も練習をしたおかげで、落ち着いて話すことができました。教育にかける情熱と自分らしさを精いっぱいアピールした結果、ついに最終合格を勝ち取ることができたのです! 自分を支え励ましてくださったすべての人たちには、心から感謝しています。

④ 皆さんは、無限の可能性を持っています。常に「何のため」という目的意識を持って、受験勉強に取り組んでください。そうすれば、きっと自分でも驚くほどの勇気がわいてくるはずですよ。人と比べることなく常に自分のベストを尽くすことを考えて、頑張ってください! 創価大学には、そして社会には、皆さんのことを待っている人たちがたくさんいますよ!

体調をこじらせて入院を繰り返した時期がありました。しかし、本当に「つらい」と思える経験があったからこそ、就職活動を乗り切れたのだと自負しています。

③ 公務員試験に挑戦していたので、勉強漬けの毎日でした。具体的に勉強を始めたのは3年生の5月。3カ月前まで入院していたため経済的に厳しい状況で、バイトとの両立は本当に大変でした。それでも1日最低5～6時間は勉強すると決め、必ず実行していました。夏休みからはバイトを辞めて、勉強時間を8～10時間に延長。部活を引退した10月からは、毎日10時間以上勉強しました。公務員試験の本に「合格者の平均勉強時間は、受験までに2,200時間」とあったので、「自分くらい出来の悪い頭でも、3,000時間勉強すれば受かるだろう」と思い、本当に3,000時間しました。つらいときは「両親が自分を育ててくれた20年間に比べれば、こんなつらさはたいしたことない!」と思いながら、体に鞭を打ちました。苦しいことも多かったですが、生涯の親友と呼べる同期や先輩、地元の仲間、そして両親のおかげで、受けた学科試験はすべて合格することができました。現在は八王子市役所に勤務しています。

④ 受験生の皆さんは、今が人生で一番勉強をしている時期だと思います。大変つらいかもしれませんが、心の底から「つらい!」と叫びたくなくなるような経験をしてこそ、自分の夢をかなえることができるのだと私は思います。いつか皆さんと、創価大学生として、そして創大OB・OGとして、出会える日を楽しみにしています!

創大では、
最高の仲間との
出会いが待っています!

伊藤 弘道さん
八王子市役所勤務
創価大学 経済学部
経済学科卒業(36期)



① 創価大学進学を決意したのは高校3年生の7月です。地元北海道の釧路にいた創大生の先輩の「人生は一度しかないのに、世界どころか日本の一部しか知らないまま終わるなんて、もったいない!」という言葉がきっかけで、創価大学を目指すようになりました。高校時代はクラブ活動にばかり没頭していたので、遅れを取り戻すべく、夏休みからは1日10時間以上の勉強に挑戦しました。仲間とともに励まし合いながら勉強に打ち込んだ受験期は、本当にいい思い出です。

② 入学当時は自分の目標が明確ではなかったのですが、勉強でよい成績を残すことで両親を安心させたいという思いが何より強かったので、人一倍勉強に励んだつもりです。残寮生時の活動や、クラブ、バイトにも力を注ぎました。その中で、大学を真剣に辞めたいと思ったり、大事な時期に

「創価大学を世界一に」
創大生は皆、
決意に燃えています!

中村 健さん
三菱商事株式会社 内定
創価大学 教育学部教育学科4年



① 3年生の10月まで、クラブと学園祭の「中心者」として全力で活動していたので、本格的な入試勉強は10月後半から。2月中盤からは遅れを取り戻そうと一般入試まで毎日15時間程度勉強しましたが、途中で体力が持たず、点滴を打ちに行ったことが、笑い話として記憶に残っています。創価大学は、母からの「創立者のもとで学んでほしい」という強い勧めと、世界に開かれた大学で学びたいという思いから、第一志望にしました。

② 「世界中に友達をつくりたい」という思いを実現するために、努力し続けました。具体的には英語、読書、そして人間交流(寮生活/英語研究会/米国留学)です。特にアメリカ・ニューヨークでの留学は、人生のターニングポイントとなりました。その理由は、理想と現実のギャップを「現実」として認識できたからです。心が折れそうにもなりましたが、「このギャップを埋め、必ず乗り越えてみせる」と立ち上がり、新しい挑戦を開始することができました。

受験は成長の
大きなチャンス。
夢に向かって
挑戦していきましょう!

佐藤 志保里さん
ソフトバンク株式会社 内定
創価大学 文学部英文学科4年



① 公募推薦入試で受験しました。所属していた吹奏楽部が3年生の10月に全国大会に出場することが決まり、毎日早朝から夜までの練習と、受験勉強との両立が大変でした。しかし、「どちらも全力でやり抜く」と決めて取り組んだ結果、大会では銀賞を受賞。入試は合格し、特別奨学生になることができました。

② 将来「世界を舞台に働きたい」という思いから、英語と中国語の習得に力を入れました。1年生の時から、外国人の教授のもとで生きた英語を学習。また、毎日図書館が閉まる21時までは家に帰らないと決めて勉強しました。そして中国語の習得を目指し、3年生の夏から1年間、中国の雲南師範大学と清華大学に私費留学をしました。最終的に、英語はTOEIC850点、中国語はHSK9級を取得する事ができました。現在も、志

③ 留学前に模擬就職活動を行い、大体の流れを掴みました。帰国した11月から本格的な就職活動を始めましたが、2月までは「日本で本当に働きたいのか」「就職活動をやる意味はあるのか」という思いが頭の中で渦巻いている状況。当然ながら、よい結果は出ませんでした。しかしキャリアセンターの方々やOB・OGの先輩方から温かい励ましを受け、そして何より創立者からの激励のメッセージを読み返すことで奮起し、総合商社・三菱商事株式会社から内定をいただくことができました。

④ 創価大学を世界一の大学にしようと、教・職・学・OB・OGが一体となって、本気で努力をしています。「自分が創価大学を世界一にするのだ」と決意に燃える先輩・同期・後輩と4年間をともに過ごせる大学は、おそらく世界を見渡しても多くはないでしょう。皆さんが創価大学に入学し、世界一を目指す仲間として一緒に頑張っていける日を心待ちにしています。お互い、ベストを尽くしましょう!



の高い仲間と切磋琢磨しながら過ごしています。

③ ソフトバンク株式会社から内定をいただきました。第一志望の外資系企業に次々と落ち、毎日が諦めそうになる弱い自分との闘い…。そんな逆境の中でも前に進めたのは、キャリアセンターやOB・OGの皆様が、土日返上で「後輩のために」と必死にサポートしてくださったからです。そんな先輩方の姿を見て、「私も後輩たちの希望になりたい!」と挑戦し続けました。この内定は、創立者をはじめ、大学の先輩方、両親、同期の仲間へ支えていただいたからこそ、勝ち取れたものだと感じています。

④ 受験は、プレッシャーや不安でいっぱいになる時もあると思います。私自身、創価高校を受験した際、毎日12時間の勉強をして臨みましたが不合格だった経験があります。その時は、まるですべての希望が断たれたかのような状態でした。しかし、その時の悔しさがあったからこそ、努力を知り、時間を無駄にしたくないという信念ができました。受験は、成長の大チャンスだと思います。「苦に徹すれば人間は輝く」という私の大好きな、創立者の言葉があります。ともに、自身の限界に挑戦し続けましょう!

頑張れ受験生!

卒業生・創大生から
応援のメッセージ!

みんな
頑張れ!!

① 受験生時代の思い出を教えてください。② 大学入学後に頑張ったことは何ですか? ③ 就職活動はいかがでしたか? ④ 受験生の皆さんにメッセージを!

忍耐強く 前進し続ければ 必ず道は開けます!

佐藤 明子 さん

株式会社関電工 内定
創価女子短期大学
現代ビジネス学科2年



① 高3の夏までバレーボール部のキャプテンとして部活動に打ちこんでいました。その上、理系のクラスに進んでいたため、短大の一般入試の受験科目である国語の勉強は、まったくというほどしていませんでした…。しかし引退後は平日5時間、休日10時間の勉強に挑戦。経済的な理由から塾に通うことは難しかったため、毎日図書館に通いました。また一つの参考書を繰り返しボロボロになるまで使い続けました。これらが私の自信へとつながりました。どんなときでも励まし続けてくれた家族や、短大の先輩、友人の支えがあったので受験でした。今でもあの辛かった日々、合格通知が届いたときの感動は、昨日のこのように覚えています。

② 学生生活では、あいさつを心がけたり、授業で一番前に座ったりなどして、「短大生」としての自覚を高めるようにしています。資格は秘書検定

2級を取得しました。また短大2年間で4年分のものにしようと、勉学はもちろん、さまざまなことに全力で取り組んでいます。現在は中国研究会の部長を務めています。また昨年、第25回白鳥祭実行委員会の副実行委員長として得た経験は私の宝物です。2時間半の通学時間を要する私にとって、毎日のように活動をする実行委員会は参加するだけでも大変でしたが、真剣な先輩の姿や創立者のご慈愛に触れるたび、短大スピリットを感じずにはいられません。そうした中で、先輩や友人との絆が生まれ、今でも心からの友情を育んでいます。

③ 周囲の短大生が就職活動に本腰を入れ始めたころ、私は卒業式実行委員会で毎日活動をしていました。両立の中で行う就職活動は苦勞の連続。寝る間を惜しんで就職活動に取り組む私を、応援してくださる教職員の方々や短大の先輩、その他多くの方々に応えようと、すべてに打ち込んでいきました。無事卒業式実行委員会をやり抜き、企業の面接では、日々の短大生活で学んだことやゼミで研究した内容などを堂々と語ることができました。そして忍耐強く前進し続けたことで、第一志望の株式会社関電工より内定をいただくことができました。

④ 受験生のときは先の見えないトンネルにいる思いにとらわれるかもしれませんが、さまざまなことが起こりますが、「すべてが自分の宝となる」と考え、自信を持ってもらいたいと思います。自分の使命を見つけるには、与えられた現状に対し、努力と忍耐をもって全力でぶつかり抜くしかありません。受験生の皆さんを応援しています!

学習アドバイス 【創価大学・平成23年度一般入試】

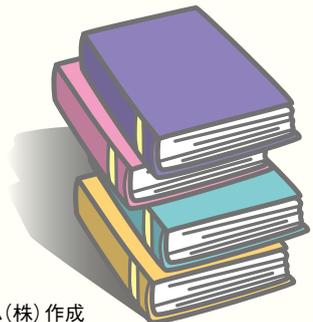
受験生必見!
受験勉強のポイントを
アドバイス

一般入試では初日、2日目と文法、構文の問題が比較的多く見られる。長文では、とても長い問題も見られ、英文を正確に速く読み、大意をつかむことができるかが問われる。単語レベルはセンター程度となっており、問題も素直になっているので、取り組みやすい印象である。

基本的に語彙力、文法力、読解力を身につける必要がある。語彙力をつけるには日々少しずつ単語を覚えていくことが必須だ。毎日30分で十分なので、語彙力の増強を図ってほしい。そして単語を覚える際には、音声とともに覚えることが重要で、それで十分な発音・アクセント対策になる。

文法力をつけるには、文法参考書を通読することが役立つ。文法・イディオム問題の対策も必要なので、簡単な問題集を1冊購入し、それを何度も間違いがなくなるまで演習してもらいたい。

読解には2つの勉強法がある。一つはいわゆる精読であり、ここでは、和訳だけでなく、S、V、O、Cおよび修飾関係等をきちんと捉える訓練をしたい。一文一文構造を考えながら必要に応じて和訳を加える勉強である。もう一つは、速読の勉強である。速読と呼ばれるが実際は「前から後ろに戻らずに読み進む」勉強である。読み下しの際には、音読を薦めたい。テキスト等で新しい単元に入る際、辞書は引かず、3回音読し大体の論旨が分かるようにする。続けていくと明らかな上達が見られる。



ゴートゥースクール・ドット・コム(株) 作成

今回は法科大学院に
フォーカスします

創価教育の精神と 法科大学院

創価大学法科大学院研究科長
尹 龍澤

▶この夏完成した
模擬法廷教室にて



創価大学は、戦後設立された大学のなかで、最も多くの司法試験合格者を輩出したという輝かしい歴史を有しています。しかし、私たちが何よりも誇りにしていることは、この学び舎から羽ばたいていった卒業生一人ひとりに、しっかりと創価教育の精神が受け継がれていることです。

創価教育の父、牧口常三郎先生は、「『法律』とは、悪に対する善の防御策である。(中略)そして『教育』とは、悪に対する予防である。善に対する擁護であり、奨励である」と、法学教育の本来あるべき姿を端的に述べられました。また、創立者池田大作先生は、「『邪悪を正す冷徹な知性』と『人間を愛する温かな慈愛』、そして『勝利を決する強靱な魂』を併せ持った法律家を育成することは、人類と地球の未来への『平和の準備』の聖業にほかなりません」と、目指すべき方途を明確に示されています。

創価大学法科大学院には、このような崇高な創価教育の精神と、それを実現するために自らの生き方を常に問い続ける「労苦と使命の中のみ 人生の価値は生まれる」「英知を磨くは何のため 君よそれを忘るるな」との創立者の言葉が息づいています。司法試験という苦闘のなかで挫けそうになるとき、また、法曹として活躍するなかで壁に直面したとき、私たちの先輩は、真の幸せとは何か、真の歓喜とは何か、そして、自らに課された使命とは何かを、自身に問い続けることで、原点に戻って、新しい地平を切り開いてきました。

真の人権感覚を体得した法律家を育成できるのは、ここ創価大学法科大学院において他にはないとの自負のもと、さらに多くの有為な人材を輩出するために全力を尽くしてまいり決意です。

創価大学創立40周年・創価女子短期大学創立25周年 記念寄付募集のご案内について

学校法人創価大学では、創立40周年の記念事業として、

- ① 「新総合教育棟」の建設事業
- ② 創価大学の教育研究の環境整備・充実
- ③ 創価女子短期大学の教育研究の環境整備・充実
- ④ 学生奨学金制度の充実

を進めてまいります。これらの事業を推進するため、記念寄付を募集しています。

【受付期間】

平成22年2月1日～平成24年1月31日(2年間)
※期間中は何回でもご参加いただけます。

【目標金額】

20億円

【募集金額】

1口10,000円 ※1口以上

【資料請求】

資料および振込依頼書をご希望の方は、以下にお電話ください。

創価大学記念寄付
募集事業コールセンター **0120-996-422**

※振込用紙の再発行も承ります。



【創価大学公式ホームページからの受付(24時間対応)】

- インターネットバンキング払い(ペイジー方式)
※個人と銀行の契約が必要になります。
- クレジットカード払い
※VISA、MASTER、JCB、AMEXをご利用いただけます。
※銀行やクレジットカード会社からではなく、
【創価大学公式ホームページ】経由で入金してください。

顕彰について

記念寄付事業に参加された方は、「新総合教育棟」の寄付者銘板にお名前を刻印し、顕彰させていただきます。寄付者銘板への刻印は、寄付者ご本人あるいはご夫婦連名になります。後日、受領書とともに「ご芳名カード」をお送りいたします。

本学卒業生、保護者の皆様をはじめ、趣旨にご賛同される皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

Explore the world and Create YOUR FUTURE!!

世界を見て、自分の未来を創ろう

世界へ広がる交流大学

本学では世界45カ国地域・122大学(2010年9月22日現在)と交流協定を結び、交換・推薦留学や夏休みと春休みに行われる短期海外研修などで、多くの学生たちが国際交流を体験しています。

交流大学の紹介 【インド共和国】

創価池田女子大学

Soka Ikeda College of Arts and Science for Women

インドの創価池田女子大学は、池田先生を師として仰がれるクマナン博士によって2000年に創設されました。同博士の要請で池田先生は名誉創立者に、香峯子夫人は名誉学長に就任されています。学生数はおよそ1,500人を擁します。学生は、経済、英文、生物などさまざまな学問を習得し、人間の幸福・価値ある人生について話し合いながら切磋琢磨しています。若い大学ですが、清新な息吹にあふれています。

2010年には創価池田女子大学から初めての交換留学生を受け入れ、本学からも2名の学生が留学しています。創価大学は、人間教育の光が、大国・インドの未来を照らしゆくように、創価池田女子大学との交流を推進します。



交換留学生の声

村松 美衣さん 創価大学 経営学部4年

創価池田女子大学は、学生の笑顔があふれる大学です。私たち留学生は、今年開設されたKaneko Libraryで毎日授業を受けています。この理想のキャンパスで多くの友と語り、英知と人格を磨いていきたいと思っています。

古根 静華さん 創価大学 経済学部3年

クマナン博士はあえて農村に大学を建設されました。学生は皆生き生きしており、とても親切です。また、日本語を習っている学生は日本語でありさつしてくれます。この留学を通じて、教育が女性にどのような変化をもたらすのかを学び、実際に感じたいと思います。

交流大学の紹介 【トルコ共和国】

アンカラ大学

Ankara University

2010年は日本とトルコの友好120周年にあたります。

アンカラ大学は、法学部、文学部、理工学部等の12学部を擁し、ケマル・アタチュルク初代大統領を創立者と仰ぐ、トルコでもっとも伝統のある大学です。

創価大学とは1990年に交流協定を調印。1992年6月には創立者 池田先生に名誉社会科学博士号が贈られ、今日まで教員や学生の教育交流が続いています。池田先生とトインビー博士の対談集『二十一世紀への対話』トルコ語版はアンカラ大学出版局より発刊され、その発刊によりトルコ社会から池田先生に寄せられる信頼はより深いものとなりました。

池田先生は名誉社会科学博士号の授与式にあたり、「文明の揺籃から新しきシルクロードを」と題した講演も行っています。



交換留学生の声

二瓶 光恵さん 創価大学 法学部3年

東洋と西洋の文化が入り混じった「文明の十字路」といわれるトルコには、人々の心の奥深くに、寛容と対話、助け合いの精神が根づいていることを感じます。20カ国以上の友人たちと一緒に勉強し、人間として悩みも願うことも同じであり、感動も祈りも共有できるということを心の底から実感することができて本当にうれしかったです。

久保田 恵子さん 創価大学 文学部4年

トルコでは、どこへ行っても人々は私たちが歓迎してくれました。留学当初の友だちをつくれるかという不安も、実際に人々と会い、友だちになる中で、吹き飛んでいきました。いつでも明るく、ポジティブな友だちの中で、毎日を笑顔で過ごせた10カ月間は、私の人生で最高の財産になりました。

交流大学で夏季海外研修を開催
215名の創大生・短大生が
この夏、世界へ飛び立つ!

◆学部 短期海外研修

創価大学では、春季・夏季の休業期間に、海外の交流大学で短期海外研修を実施しています。

今夏も、南カリフォルニア大学(アメリカ)、香港大学(香港)、グリフィス大学(オーストラリア)、ナイロビ大学(ケニア)、慶熙大学(韓国)、経済学部のIPシンガポール研修、経営学部のGPヨーロッパ研修、文学部・英文専修のバックingham大学

研修などに135名の学生が参加しました。

夏休みの間、2週間から3週間、それぞれの大学で語学を学ぶとともに、現地の学生や人々と触れ合いながら、各国々の文化を体験する研修となっています。

参加者からは「日本を出ることによって、日本の長所と短所を感じることができました。また生涯の友人をつくることができ、経験としての研修ではなく、今後に生かせる研修になりました」「オーストラリア グリフィス語学研修に参加して、さまざまな文化を背景を持った学生と触れ合い、視野を広げることができました。これからは英語の勉強を頑張っていきたいと思います」などの決意あふれる感想が聞こえました。



◆短大 短期留学プログラム・語学研修

創価女子短期大学にはSUA短期留学プログラムとUCSD語学研修があります。

SUA短期留学プログラムでは、2010年6月1日(火)から7月31日(土)までの2カ月間に、徹底した英語教育と数々の体験を通して、英語の実力と異文化理解を深めることができます。今年は40名が参加し、充実した2カ月間を過ごしました。UCSD語学研修はカリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)で3週間の研修を受けます。参加者40名は8月7日(土)に出発し、8月29日(日)に元気に帰国しました。

SUA
参加者の感想

福井 英美さん

英語コミュニケーション学科1年

SUAでの2カ月間、悩み、苦しみ、それでいて充実した日々を過ごすことができました。この経験を生かし、今後は大好きな英語にさらに磨きをかけ、将来は人のために貢献できる人材になりたいです。



創価大学の防災対策

Soka's Disaster Response Program

創価大学は、2006年1月に八王子市との間で「広域避難場所に関する協定」を締結し、地域住民などが災害時に避難してきた場合に第1グラウンドを開放することになっています。また、2006年3月には、八王子市、八王子消防署、創価大学の三者間で「災害時支援ボランティアに関わる相互協力に関する協定」を締結しました。この協定は、講習などを受けた本学教職員並びに学生が「災害支援ボランティア」として認定され、地震や台風などの大規模災害発生時に八王子市からの要請に応え、災害対策の活動に協力するというものです。その他にも、大学コンソーシアム八王子加盟大学などで、大規模災害発生時に独自では十分な災害用備蓄などの物資供給が実施できない場合に、大学間による応援を円滑

に遂行する「災害時用備蓄等の物資の供給等に関する相互応援協定」も締結しています。また、「災害時におけるヘリコプター臨時離着陸場」として本学第1グラウンドが指定されています。

AED(自動体外式除細動器)はキャンパス内に14カ所、本年新たに全寮(15カ所)に設置し、緊急時に備えています。

来年9月には八王子市、八王子消防署の協力をいただき、全学総合防災訓練を行う予定です。



創価大学のバリアフリーマップ▶

救命講習会

2010年8月に、創価大学救命救急サークル主催の「救命講習会」を開催しました。クラブやサークル、自治会の代表などが参加し、応急処置、人工呼吸や心臓マッサージによる心肺蘇生法、AEDの使用方法について学びあうなど、学内での救命活動の知識と技能の普及に取り組んでいます。

このたび、救命救急サークルの日ごろの功労を称え、八王子消防署より「八王子消防署長感謝状」が贈呈されました。



非常食体験

2010年9月17日(金)に創価大学、女子短期大学の食堂にてアルファ米などの非常食を無料で配布し、学生の皆さんを対象に非常食体験を行いました。創価大学では、総合体育館にある備蓄倉庫に2日分(約12,000食)の非常食を備蓄しています。





エジプト・アラブ共和国のW.M.アブデルナーセル大使が本学で特別講義

Special Lecture by His Excellency Dr. Walid Mahoud Abdelnasser, Ambassador of Egypt to Japan

2010年6月7日(月)、駐日エジプト・アラブ共和国特命全権大使のフリード・マハムード・アブデルナーセル氏が来学。総合科目「21世紀のアフリカ」で「エジプトへの招待」と題した特別講義を行いました。

大使は2007年10月に赴任し、在東京アフリカ外交団から創立者に感謝状(2007年)、顕彰状(2010年)が贈られた式典にも出席しています。

講義では、エジプトの歴史、文化、文明、地理、政治、経済などを概観しながら、さまざまな特徴をもつエジプトが各分野で大きな役割を果たしていることに言及。日本とエジプトが大変良好な外交関係にあることにも触れました。また、本学と大使の母校であるカイロ大学ならびにカイロ・アメリカ大学との学術交流が20年も前からあることを紹介し、さらに広く深い交流となることを希望。最後に、「ぜひエジプトに来てください」



「日本では古代エジプトのことはよく知られているが、現代のことは知られていません。ぜひ皆さんの目でさまざまな文化を吸収し、近代化したエジプトを見ていただきたい」と学生に語りました。

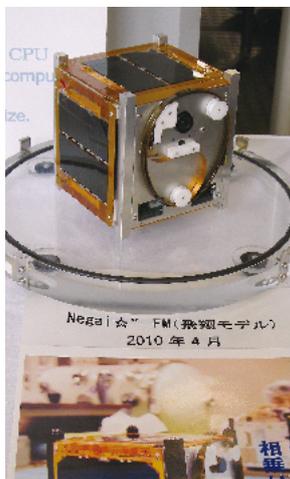
小型人工衛星「Negai☆」が流れ星に!

Soka Microsatellite Negai Streaks to Stardom

2010年6月26日(土)、本学の学生が開発した小型人工衛星「Negai☆」が大気圏に再突入し、8,000名の子どもの「夢」とともに“流れ星”になったことがわかりました。「Negai☆」は、5月21日から約1カ月間で地球を500回以上周回したことになり(秒速7km)、ミッションである「高度情報処理システムの宇宙実証」、8,000名の子どもの夢と一緒に流れ星となる「子供の夢応援プロジェクト」を無事に成功することができました。

渡辺工学部長は「応援をいただいた全国の多くの本学支援者、大学関係者、その他の関係各位に心より感謝いたします。また小型衛星プロジェクトに真摯なる挑戦を惜しまなかった学生に敬意を表します」と語りました。

数多くの応援をいただき、誠にありがとうございました。



▲オープンキャンパスで展示中のNegai☆

ホタルの夕べを開催

"An Evening of Fireflies" Opens



2010年6月26日(土)・27日(日)に、蛍桜保存会主催の「ホタルの夕べ」が開催されました。地域の方々や学生など約300名が夜空に舞うホタルを観賞。会場では数十匹のゲンジボタルやヘイケボタルが淡い光を放ちながら天空を舞い、参加者の目を楽しませてくれました。

また、26日には落語研究会と箏曲部が、27日にはプリンス・マーシー・ジャズ・オーケストラと創価マジシャンズプログラムのメンバーが演目を披露し、観賞会を盛り上げました。



交換留学生・アメリカ創価大学研修生 修了式

Foreign Exchange and SUA Students Complete Training Course

2010年7月22日(木)、本部棟14階国際会議場で交換留学生・アメリカ創価大学研修生の修了式が行われました。創業者 池田先生から「創大で育んだ友情を生涯の宝として、励まし合いながら前進していきましょう」とのメッセージが贈られました。

11カ月、または4カ月を創価大学で過ごした留学生からは、「先生にお会いすることのできた入学式からあったという間に日が経ち、今日このように修了式を迎えたことにとっても感動しています。創大での生活は私の生涯で一番の思い出です」(創価池田女子大学 アンジャン・ジャヤランさん)、「創価大学に留学することができて本当によかったと心から思います。来日する前は日本に対しさまざまな先入観がありました。たくさんの人に支えられ、素晴らしい思い出をつくることができました」(極東大学 サミーロワ・エフゲーニヤさん)といった声が寄せられました。



◀ 極東大学 サミーロワ・エフゲーニヤさん(右)

TIES 2010 夏のシンポジウム in 東京

e-Learning Symposium Held Over Summer

2010年8月24日(火)、本学本部棟において、NPO法人CCCと創価大学共催の「TIES 2010夏のシンポジウム in 東京」が開催され、札幌大学・宮腰学長など全国から大学関係者等が参加しました。

NPO法人CCCは、2006年5月に教育機関、産業界および地域社会に対して、eラーニングの手法と技術を活用して教育の改善・充実を目指し、帝塚山大学が現在も無料提供を行っているeラーニングシステムTIES(タイズ)の利用大学によって設立されました。教育的コンテンツの豊富化・高度化・共有化の促進、教育手法・技術の研究開発、教育配信技術の環境整備に寄与しています。

シンポジウムでは、TIES統合部会委員長である帝塚山大学・中嶋航一教授のあいさつで開会し、創価大学・山本英夫学長が「創価大学の概要とe-learningへの取り組み」、また千葉工業大学・仲林清教授が「オープンエデュケーションの光と影」と題し、基調講演を行いました。その後、実際の講義や演習などでTIESを活用している大学教員などから、事例報告が行われました。

最後に「第2回全国大学対抗TIESタイピング大会」の決勝戦が行われ、札幌大学が18大学の頂点に輝きました。



教職大学院フォーラム2010を開催

Teacher Education Graduate School Seminar

2010年8月1日(日)、「教職大学院フォーラム2010」が創価大学大教室棟S201教室で開催されました。会場には、全国各地から現職教員や学生など、合わせて約170名が参加しました。

フォーラムでは、主催者である本学の馬場副学長、そして東京都教育委員会教職員研修センターの樋口豊隆教育開発課長のあいさつの後、「生きる力を育てる学校と教師のあり方—教育課題実地研究の成果と課題—」とのテーマでシンポジウムを開催しました。



通信教育部、 伝統の夏期スクーリングを開講

Correspondence Education Division Holds Summer Course

通信教育部の第35回夏期スクーリングが2010年8月8日(日)から22日(日)までの15日間開講されました。

今夏は1期～3期を合わせて、海外17カ国・地域を含む約4,700名が参加。夏期スクーリング開講式には創業者がメッセージを寄せ、「わが創大通教の皆様方こそ、平和と幸福をリードする『人間学の王者』なり、『幸福学の博士』なりと、私は全世界に向かって宣揚申し上げたいのであります」と励ましを贈りました。

また17日(火)には伝統の「学光祭」を、「『建学の精神』高らかに 君よ! 学光王者と社会に輝け!」とのテーマのもと、晴れやかに開催。猛暑のなか、学問を求め、友との友情を深める生涯の原点を築く夏となりました。



第38回夏季大学講座を開催

38th Annual Soka Summer Course Opens

今年で38回目を迎えた伝統の夏季大学講座が、2010年8月27日(金)から29日(日)の3日間にわたり開催されました。教育、文学、歴史、音楽など「充実と魅力の62講座」を、全国各地より向学の意欲を燃やす方々が「一日創大生」として集い合い、学びの汗を流しました。

受講生の声

● 講座番号5

『創業者の中国の大学講演に学ぶ』

講師：文学部教授 高橋 強

初めて参加させていただきました。講義が一方的でなく、本当に楽しく受講できました。昼休みには十分に学内を散策でき、創価の素晴らしい環境で学ぶことができる「一日創大生」を満喫しました。こうして元気に参加できたことが何よりもうれしいです。これからも参加させてもらいます。(兵庫県 80代女性)



● 講座番号18

『幸福の経済学—所得と幸福のパラドックス—』

講師：経済学部教授 高木 功

何十年来、参加することを心がけてきた夏季大学講座を今年も元気に受講することができ、大変幸福に思います。また、希望であった「幸福」をテーマにした講義を今回受講できたので、思い残すことはありません。本当にありがとうございました。来年も元気に受講できるように頑張ります。(新潟県 70代女性)



前期卒業式

Prior-term
Graduation Ceremony

創価大学・創価女子短期大学の平成22年度前期卒業式が、9月18日(土)に開催されました。

この卒業式で、大学院博士前期課程3名に修士、法科大学院学生4名に法務博士(専門職)、学部生49名に学士、創価女子短期大学の3名に短大学士の学位記が授与されました。

創立者は卒業生に対し、「いずこにあっても賢く朗らかに、負けじ魂を燃え上がらせて学び戦い、尊き我が使命を果たしていきましょう」と慶祝のメッセージを寄せられ、喜びに満ちあふれた晴れの門出の式典となりました。

創価大学学長杯 少年サッカー大会

Soka Hosts Little League Soccer Series

2010年9月4日(土)・5日(日)の2日間にわたり、「第13回創価大学学長杯2010サマージュニアカップ(少年サッカー大会)」が本学第1グラウンドとビクトリーグラウンドで開催され、八王子市などから小学1・3・5年生チーム全36チームが参加しました。選手たちは夏の練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。



2010年新司法試験に18名が合格

18 Soka Applicants Pass Bar Exams

2010年9月9日(木)、法務省から、法科大学院修了者を対象とした2010年の新司法試験の合格者が発表されました。法務省の発表によると、全国の受験者8,163名のうち、合格者は2,074名でした。創価大学法科大学院からは、92名が受験し、18名が合格。合格者数、合格率ともに昨年を上回りました。これまで5回の新司法試験合格者の合計は71名となりました。これにより、開学以来の新旧司法試験を合わせた合格者は200名を突破し、累計205名となりました。

主な来学者 Selected List of Visitors

2010年6月・7月・8月



6/7日 エジプト

駐日エジプト大使館のアブデルナーセル駐日大使一行が来学され、アブデルナーセル大使に創大最高栄誉賞が授与されました。特別講義「エジプトへの招待」が行われました。



6/11日 中華人民共和国

大連工業大学の余加祐学長一行が来学され、余学長に創大最高栄誉賞が授与されました。また、創立者へ国際教育貢献賞が授与されました。



6/19日 フィリピン

ラモス元大統領一行が来学され、ラモス平和開発財団から図書が贈呈されました。



6/28日 アメリカ合衆国

ジョージ・メイソン大学のピーター・スターズ首席副学長一行が来学され、交流協定調印が行われました。スターズ首席副学長に創大最高栄誉賞が授与され、創立者へ名誉人文科学博士号が授与されました。



7/2日 台湾

台湾芸術大学の黄光男学長一行が来学され、黄学長に創大最高栄誉賞が授与されました。創立者へ名誉教授称号が授与されました。



8/17日 キルギス共和国

B.ムルスライモフ科学アカデミー研究所所長一行が来学され、オシ人文教育大学のK.イサコフ学長、オシ農業大学のS.アマトフ学長に創大最高栄誉賞が授与されました。創立者へオシ人文教育大学名誉教授称号、オシ農業大学名誉教授称号が授与されました。

6/3日 中華人民共和国

北京日本学術センターの徐一平教授が来学されました。

6/3日 アメリカ合衆国

アメリカン大学アジア研究センターの趙全勝所長が来学され、記念講演「アメリカ、中国とミャンマー問題」が行われました。

6/4日 中華人民共和国

二胡奏者の王国潼一行が来学されました。

6/8日 中華人民共和国

寧波大学の馮志敏副学長一行が来学され、交流協定調印が行われました。馮副学長へ創大栄誉賞を授与。創立者へ名誉教授称号、創立者夫人へ女子学院名誉院長称号が授与されました。

6/9日 中華人民共和国

浙江海洋学院の宋富軍副院長一行が来学され、宋副院長に創大栄誉賞が授与されました。創立者へ名誉教授称号が授与されました。

7/2日 エジプト

カイロ大学のムハンマド・エル・サイド・セリム教授一行が来学されました。

7/21日 スウェーデン

ルンド大学のA・ランデ名誉教授が来学されました。

7/29日 台湾

高雄大学の黄英忠学長一行が来学され、創立者へ名誉教授称号が授与されました。

創価教育研究所 札幌師範学校附属小学校沿革誌 貴重書 五十年回顧録

Soka University's Precious Collections

本年は1930年に『創価教育学体系』が発刊されてから80周年となります。「全ての人を幸福に」という心が創価教育を貫く精神です。

新渡戸稲造が「日本人が生んだ、日本人の教育学説であり、しかも現代人がその誕生を久しく待望せし名著である」と述べた『創価教育学体系』も、思想の淵源は牧口常三郎先生の青年時代にありました。

牧口先生は、1892年、21歳の時に教育実習生として付属小学校の教壇に立ちます。そこで考案した作文指導法が、『創価教育学体系』の全篇を貫く思想の中核である、と本回顧録のなかの「四十五年前教生時代の追懐」で述べています。

北海道という開拓地の子どもたちは、東京と比べ決して学力が高いとは言えません。そのなかで、どの子どもも皆喜んで作文を書けるようにするにはどうしたらよいか、というすべての子どもを思いやる心に、創価教育の源泉があったのです。



語学の祭典 スピーチコンテスト開催!

International Speech Contest Held

本学の学術系各クラブが主催し、他大学からの出場者も迎えて行われるスピーチコンテスト。今年の日程が決まりました。「語学の祭典 スピーチコンテスト」にぜひご注目ください。

- 英語
全日学生英語弁論大会 第16回 池田杯
【開催日時】2010年11月6日(土)
- ドイツ語
第19回 創価大学創立者杯 ドイツ語弁論大会
【開催日時】2010年11月21日(日)
- ハンガール
第18回 創価大学創立者杯 ハンガールスピーチコンテスト
【開催日時】2010年11月13日(土)
- 中国語
創価大学創立者杯 第37回 中国語弁論大会
【開催日時】2010年11月14日(日)
- スペイン語
第19回 創価大学創立者杯 スペイン語弁論大会
【開催日時】2010年11月27日(土)
- フランス語
第29回 創価大学創立者杯 フランス語弁論大会
【開催日時】2010年12月4日(土)

- スワヒリ語
第20回 創価大学創立者杯 スワヒリ語スピーチコンテスト
【開催日時】2010年11月3日(水・祝)
- モンゴル語
第9回 モンゴル語スピーチコンテスト
【開催日時】2010年12月19日(日)
【会場】S201教室
- ロシア語
第20回 創価大学創立者杯 ロシア語スピーチコンテスト
【開催日時】2010年12月12日(日)
【会場】S201教室
- 日本語
第6回 創価大学創立者杯 日本語スピーチコンテスト
【開催日時】2010年12月11日(土)
※会場は、モンゴル語(S201教室)以外はすべて学生ホール3F(多目的ホール)



▲昨年のスワヒリ語スピーチコンテストの様相
▶昨年の中国語弁論大会の様相

若き知性の学術交流 シンポジウム開催

Academic Exchange Symposium Held

今年も、本学学術クラブ主催の各シンポジウムが開催されます。若き知性の交流に、皆様もぜひご参加ください。

- 第11回 アジア太平洋学生シンポジウム
【開催日時】2010年12月5日(日)
【会場】S201教室
- 第2回 環境シンポジウム
【開催日時】2010年12月12日(日)
【会場】S201教室

経済学検定試験・大学対抗戦6連覇の快挙!

Soka Team Wins Sixth Straight Economics Contest

経済学理論同好会が2010年7月4日(日)に開催された第13回経済学検定試験・大学対抗戦において優勝を果たし、6連覇を達成しました。

また個人の成績では、経済学検定試験において経済学部4年の寺田和之さんが全国1位、経済学部4年の佐藤浩司さんが全国2位となりました。



女子柔道部が全国大会で3位入賞!

Soka Women's Judo Team Places 3rd in All-Japan Contest

2010年6月26日(土)に日本武道館で開催された全日本学生柔道優勝大会に、創価大学女子柔道部が3人制の部で出場し、見事全国第3位に輝きました。

創価大学は、初戦、2回戦を勝ち抜き、準々決勝へ進出。その後、準々決勝では西部法子さん(教育・3年)の活躍により勝利を収め、臨んだ強豪・埼玉大学との準決勝では惜敗するも、後藤美和さん(文・1年)が大会の優秀選手に選出されるなど、大舞台で皆が力を出し切り、堂々の全国3位の結果となりました。

石橋清二監督は、「皆様の励ましのお陰で、一人ひとりが限界を破る戦いができました。若いチームですので、これをスタートにますます強くなり、必ずまた日本一になります」と力強く語りました。



山野楽器ビッグ・バンド・ジャズ・コンテストに出場!

Soka Jazz Ensemble Takes Part in Jazz Contest

2010年8月14日(土)・15日(日)の2日間、第41回「山野楽器ビッグ・バンド・ジャズ・コンテスト」が大宮ソニックシティ・大ホールにて行われ、創価大学プリンス・マーシー・ジャズ・オーケストラが出場しました。今大会では前回大会の20位までのシード校と東日本・西日本予選を勝ち抜いた計35校のジャズバンドが、2日間にわたってお互いの演奏を披露。同クラブは東日本予選において3位通過を果たし、14日、ウェイン・ショーター作曲「ブラック・ナイル」などを熱演しました。クラブとしても1年の鍛錬の成果のある本大会。メンバーは皆、創立者の相次ぐ激励にお応えしようと努力に努力を重ねてきました。大会終了後、審査員からは「とても素直で元気ある演奏」等と講評が寄せられました。



クルーダンス部「D.I.CREW」が 全国大会に出場!

Crew Dance Team Battles in National Competition

創価大学クルーダンス部が、8月21日(土)に仙台市青葉体育館で開催された「アメリカン ダンスドリルチーム ジャパン2010」に出場。「大学部門・ポンポン、ヒップホップ&オープン」で、見事第2位を勝ち取りました! この大会は、日本では初めての開催。クルーダンス部は6月のビデオ審査を経て、本大会への出場が決まりました。同部の長澤勝行部長(法・3年)は「2位という結果で悔しい思いをしましたが、出場メンバー、出場しないメンバー関係なく、全員がこの日を目指し、練習に励み、全力で挑戦できた大会となりました。また、会場中を巻き込んでの演技ができ、団結の勝利を得ることができました」と語っていました。



ヴォーカルグループがディズニー公演

Soka Singers Stage Show at Disneyland Japan

2010年8月12日(木)、東京ディズニーランドで行われたミュージック・フェスティバル・プログラムに創価大学ヴォーカルグループが出演しました。

昨年オーディション落選の悔しさを経験し、勝ち取ったディズニーランドでの公演に、部員の感動はひとしお。部長の柏木正徳さん(文・3年)は、「キャップはじめ、衣装係や振付係など、部員のため、お客様のために全力で支えてくれたメンバー。歌はもちろん、ダンス部かと思うほど踊りにも真剣に取り組んだみんな。応援に駆けつけてくれた一緒に歌えなかった仲間や歴代の先輩、家族、すべての方々に感謝しています。当日はとにかく緊張しましたが、本当に楽しく、あの緊張感が私たちに強くしてくれたと思います」と興奮気味に語ってくれました。



いよいよ公募推薦入試の出願が始まります!

創価大学
Soka University

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成22年11月1日(月)～11月9日(火)
試験日	平成22年11月20日(土)
合格発表日	平成22年12月1日(水)

創価女子短期大学
Soka Women's College

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成22年10月27日(水)～11月5日(金)
試験日	平成22年11月13日(土)
合格発表日	平成22年11月19日(金)

※出願資格等、詳細は「キャンパスガイド2011」、または募集要項をご覧ください。

平成23年度入試要項(願書)配布中!!

創価大学、創価女子短期大学の入試要項(願書)をご請求いただけます。請求方法は以下のとおりです。また、受験生用パンフレット「キャンパスガイド2011」も、こちらでご請求いただけます。ご希望の方はぜひご利用ください。

キャンパスガイドや入試要項(願書)のお申し込みは…

テレメールが便利です。
以下に電話し、資料番号等を登録してください。

IP電話番号 **050-8601-0101**

※お問い合わせは、050-8601-0102へおかけください。

資料番号

- 「入試要項(願書)」…………… 160189(短大174150)
 - 「過去の入試問題集(1年間分)」…………… 157070(短大含む)
 - 「大学キャンパスガイド2011」…………… 151891(短大154151)
- インターネット(PC・携帯電話 <http://telemail.jp>)からも請求できます。



資料請求用QRコード

創大ホームページ 丹木の歳時記より Snapshots from Tangi



「平安の庭」近くで咲くトレンシアの花



実りの季節を迎え色づく銀杏

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆様の声を募集しております。感想などがありましたら、下記までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。
※皆様からいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただく場合があります。
FAX:042-691-9300 E-mail:hiroba@soka.ac.jp

創価大学

センター試験利用入試(前期日程)

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成23年1月3日(月)～1月14日(金)
試験日	平成23年1月15日(土)・16日(日)に実施される大学入試センター試験を受験
合格発表日	平成23年2月7日(月)

※大学入試センター試験の出願期間は、平成22年10月1日(金)～14日(木)です。(センター試験利用入試を出願される方は、本学への出願受付の他に、あらかじめ大学入試センター試験の出願が必要です)

一般入試

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成23年1月4日(火)～1月28日(金)
試験日	平成23年2月13日(日) 経済学部 経済学科/法学部 法律学科/教育学部 教育学科・児童教育学科 平成23年2月14日(月) 経営学部 経営学科/文学部 人間学科 平成23年2月15日(火) 工学部 情報システム工学科・生命情報工学科・環境共生工学科
合格発表日	平成23年2月22日(火)

センター試験利用入試(後期日程)

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成23年3月1日(火)～3月11日(金)
試験日	平成23年1月15日(土)・16日(日)に実施される大学入試センター試験を受験
合格発表日	平成23年3月20日(日)

※大学入試センター試験の出願期間は、平成22年10月1日(金)～14日(木)です。(センター試験利用入試を出願される方は、本学への出願受付の他に、あらかじめ大学入試センター試験の出願が必要です)

創価女子短期大学

一般入試

出願期間(郵送のみ・締切日消印有効)	平成23年1月4日(火)～1月21日(金)
試験日	平成23年2月5日(土)
合格発表日	平成23年2月10日(木)

OPEN CAMPUS

毎回好評のオープンキャンパス。
学部や入試対策の情報をゲットできるチャンスです!!

2011年3月6日(日) 10:00～17:00

[事前申込不要・入退場自由]

主な企画(予定) ●歓迎フェスティバル/キャンパスバスツアー/入試問題「傾向と対策講座(英語・国語・数学[工学部])」/体験授業(学科ガイダンス含む)/入試ガイダンス/保護者説明会/受験相談コーナー/学食体験(無料)/本部棟自由見学/各施設見学/ビデオ上映コーナーなど。その他記念品・資料等多数配布。



適切に管理された森林から製造された森林認証用紙を使用しています。



揮発性有機化合物を低減できる大豆インクを使用しています。



Soka University News 67号

●編集発行/Soka University News 編集委員会 ●発行責任者/田代 康則 ●編集長/杉本 政人
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300
ホームページ/ <http://www.soka.ac.jp> 2010年10月8日発行